



2022年3月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(1 ページ\)](#)
- [不具合 \(2 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

パートナー ダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードに次の機能が導入されました。

Trace Firehose

Cisco Spaces パートナーダッシュボードに [Trace Firehose] と呼ばれる新機能が導入されました。この機能は、[Your Apps] > [App Tile] > [More] > [Trace Firehose] で利用できます。この機能には、Cisco Spaces パートナーダッシュボードから [Firehose] データを表示するための次の2つのオプションがあります。

- [Download historical data] : 過去24時間の時間別データをダウンロードするには、このオプションを使用します。必要なタイムスロットを選択して、選択したタイムスロット内にトリガーされた Firehose イベントを含むテキストファイルをダウンロードします。
- [Download present data] : このオプションを使用して、Cisco Spaces パートナーダッシュボード UI で5分間、firehose イベントのライブストリームを表示します。

このリリースでの変更点

Mapservice

Cisco Spaces **Mapservice** では、次の機能強化が加えられました。

計画されたアクセスポイントの [Mapservice] および [Location Hierarchy] へのインポートはサポートされていません。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字（a～z）、*N* は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

シスコバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の不具合

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースにおける未解決の不具合を示します。これまでのリリースで未解決で、まだ解決されていない不具合は、修正されるまで、今後のすべてのリリースに適用されます。

表 1: Cisco Spaces 未解決の不具合

不具合の識別子	不具合の説明
CSCwb30644	Meraki と統合されている場合、Openroaming の統計が表示されない。

解決済みの不具合

Cisco Spaces のこのリリースで解決された不具合はありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。